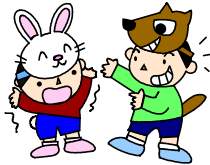




# なでしこ



2021年 11月  
 学校だより 第7号  
 北区立なでしこ小学校  
 URL : <http://www.kita-ky.ed.jp/~es18>



## 仲良くするのは難しい



校長 原田 英孝

つい最近までは半袖のTシャツ一枚で汗をかいている子どもの姿を校庭でたくさん見かけたものですが、近頃はフリースの上着を着て登校してくる児童が増えてきました。また、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向となり、遠足等の校外学習や縦割り班などの交流活動も再開しました。まだまだ感染症等の予防対策に手を抜くことはできませんが、学校は少しずつ本来の生活を取り戻しつつあります。

さて、11月は「ふれあい月間」です。ふれあい月間は、6月、11月、2月の年間3回設定されますが、なでしこ小学校ではこの11月、道徳授業と特別活動を中心に「いじめの防止」や「多様性・他者理解」にかかわる学びを重視して、子ども達が心穏やかに、仲良く安心して学校生活を送ることができるよう取り組んでいきます。

ところで、学校でも家庭でも、子ども達に「仲良くしましょう」と言い聞かせる場面はたくさんあります。しかし、「みんなが仲良くすること」がそれほど簡単ではないことを、皆さんはご自身の経験からも十分に理解されていることと思います。もともと育った家や環境が異なり、家庭によって考え方が違い、場合によっては生まれた国や宗教が違うのです。ものの考え方や価値観が一人一人異なるのはあたりまえ。そうなれば、他人同士が簡単に仲良くするなど至難の業です。

人と人が仲良くするためには、まず「対立や意見の違いがあっても当然」であることを認め、違いを受け入れたうえで、自分自身や相手に対して折り合いをつけていくこと（合意形成）が重要です。もう少し平たい言葉に言い換えると、世の中には自分と違う人、そのり合う人や合わない人がいる前提で「互いにストレスなく生きられる方法」や「自分と他の人の違いをプラスにとらえて協働していける力」を身に付けることです。「どんな相手とも、違いを認め合いながら協力して、最大限の成果を発揮できる姿」、これこそ「仲良くする」ことが生み出す最大の価値だと言えます。

また、子ども達はよくケンカをしますが、これは「自分の思いや立場をぶつけ合った結末」に他なりません。しかし、ここで子ども達は「自分と違う立場や考え方がある」ことを知り、「折り合いをつけなくてはうまくいかないぞ。」という社会経験を積むこととなります。気の合う仲間だけで集い、異質なものを排除しようとするような「内輪だけの仲良し」は本当の仲良しとはいえません。

うわべでなく、本当の意味で人と人が仲良くするのは難しい。しかし、学校では、子ども達が「仲良くする」ということの本当の意味や良さに気付いていけるよう、あらゆる学びの機会をとらえて教育をすすめてまいります。



# 11月の行事予定

1日	月	全校朝会 安全指導	16日	火	全校朝会 赤岩中体験授業6年
2日	火	NIEタイム	17日	水	B時程4時間 避難訓練
3日	水	文化の日	18日	木	4年移動教室代替活動
4日	木		19日	金	B時程
5日	金	音楽朝会 6年社会科見学	20日	土	
6日	土		21日	日	
7日	日		22日	月	全校朝会 クラブ活動
8日	月	全校朝会	23日	火	勤労感謝の日
9日	火	NIEタイム	24日	水	
10日	水		25日	木	
11日	木	B時程5時間	26日	金	児童集会 5年歯磨き大会 全5時間授業
12日	金	学芸会	27日	土	土曜授業 親子スマホ教室 3年歯科指導
13日	土	学芸会	28日	日	
14日	日		29日	月	全校朝会 5年岩井代替活動 委員会活動
15日	月	振替休業日	30日	火	NIEタイム

## 校庭解放:

**3日(水), 7日(日), 14日(日), 21日(日), 28日(日)**

## カウンセラー来校日: 中田さん: 2日, 9日, 16日, 30日

**篠村さん: 4日, 11日, 18日, 25日**

## 学芸会に向けて

学芸会委員会 内山 久枝

学芸会に向け10月19日より始まった体育館での特別練習。演劇づくりに対する子供たちの意欲の高まりが、日々上達していく身振り手振りを伴ったセリフの言い回しや歌声から伝わってきます。休み時間には、友達と声を掛け合って練習をしたり、小道具・大道具作りに励んだりする子がいます。自分達の劇を成功させようと、すすんで取り組む子供たちの姿が校内にあふれています。

学芸会のめあては

- ①教え合ったり、励まし合ったりしながら練習を重ね、その成果を発表しよう。
- ②表現することの楽しさや、仲間と協力して一つのものをつくっていく喜びを感じよう。
- ③お互いの劇のよさを味わい、ゆたかな気持ちを育てよう。

の3つです。普段の学習では得られない大切なことを、学芸会を通して学び成長していけるよう、教員一丸となって指導にあたってまいります。

今年度はこれまでとは異なる形での開催となりますが、保護者の皆様にはご理解・ご協力いただき、励ましと温かい拍手を送っていただきますよう、お願い申し上げます。

## 元気いっぱい、行事にも一生懸命取り組む3年生

第3学年担任 木田 純也 戸口 美幸 佐野 倫太郎

3年生は皆とても元気で、休み時間には我先にと校庭に飛び出し、ドッジボールなどで思い切り遊んでいる子どもがたくさんいます。元気の源、給食もしっかりと食べ、完食の日も続いています。また、行事にも熱心に取り組み、運動会に向けて練習に励んでいた花笠音頭では、延期、無観客と、なかなか発表の場ができませんでしたが、気持ちを切らさず学校だけでなく、家でも練習を続け、土曜授業では立派に発表することができました。終わった後には、「今までで一番緊張した」「一番上手に踊れた」などの声が聞こえ、改めて子どもたちにとっての発表の場の大切さを実感しました。

次は初めての学芸会です。台本が渡されると夢中になって読み、自分のやりたい役を決めていました。人気のある役はオーディションになり、それぞれが台詞を工夫して表現し、上手にできると感心する声が何度も上がるほど白熱しました。希望が叶った子も第2, 第3希望になってしまった子もいましたが、今では、皆決まった役に一生懸命取り組んでいます。一人一人が輝く発表ができるようしっかりと支援してまいります。励ましの声掛けなどご協力よろしくお願ひいたします。